

2026年度 水資源・環境学会 研究大会

自由論題部 要旨

長岡京市環境基本計画の変遷と現在地

小幡 範雄

(立命館大学名誉教授)

水資源・環境学会に2025年9月に地域環境計画検証研究会が発足した。この研究会では、環境基本計画の理念・課題・政策の方向性を議論するとともに、より具体的に問題を考察するため、彦根市、長岡京市、高槻市、吹田市を事例として計画の総合的レビューを行っている。

著者が担当している長岡京市では、2001年から2022年までに3期に渡って初動期、発展期、成熟期と環境基本計画が策定されてきた。

本研究報告では、長岡京市環境基本計画策定の意味と背景(なぜ計画をつくったのか)、3期にわたる計画の内容その比較、計画策定と進行への市民参加(市民参加と行政との関わり、パートナーシップ)、総合的な環境まちづくりのビジョンのプロセス等について分析・考察し、今後の地方自治体における環境基本計画の策定に関しての知見を示す。